

THE M8

COUPÉ AND CABRIOLET





01

THE BMW M8 COUPÉ
AND CABRIOLET



02

DESIGN AND HIGHLIGHTS

- 30 The Vision
- 32 Design BMW M8 Coupé
- 36 Design BMW M8 Cabriolet
- 40 すべては、美しさのために
- 42 M Philosophy
- 46 理想郷を追い求めて

03

INNOVATION AND TECHNOLOGY

- 50 The Vision
- 52 ドライバー・アシスタンス
- 54 BMWコネクテッド・ドライブ
- 56 快適性と機能性



04

EQUIPMENT

- 58 The Vision
- 60 Coupé Models
- 64 Cabriolet Models
- 68 ボディ・カラー
- 69 シート・マテリアル&カラー、
インテリア・トリム、
インテリア・カラー



さらなる情報と、駆けぬける喜びを。
「BMW カタログ」アプリ

今すぐアプリをダウンロード。
いつでも、どこでも、走りの喜びをあなたの手のなかに。



➡ www.bmw.co.jp/m8coupe



➡ www.bmw.co.jp/m8cabriolet



勇気について、お話ししましょう。
今、なぜ勇気が必要とされているのか。

勇気とは、孤高で、かつ破壊的です。
勇気はつねに私たちを問い質し、すべてを打ち砕き、
新たなる目覚めをもたらします。
私たちすべてに必要なのは、大胆なる勇気。
求められるのは、斬新な発想を持つ前向きな人です。

私たちは、信じています。
誰より先に立つ人々を。
停滞や後退に抗う人々を。
勇気とは、ただ前へ進むこと。
明日を変革する文化の先駆者を突き動かすこと。
まったく新しいなにかを生み出すこと。
卓越の、その先へ至ること。

今、新たなるラグジュアリーが誕生します。
勇気あるあなたに、届けるために。



WE CAN MEASURE
ACCELERATION.
WE CAN SENSE POWER.
WE CAN EVEN ABSORB
STREAMS OF THOUGHT.
BUT FOR FEELINGS, THE
ONLY RELIABLE MEASURING
INSTRUMENT IS STILL

GOOSEBUMPS.







THE SPECIAL THING ABOUT A
CHARISMATIC APPEARANCE IS
NOT TO STAND OUT FROM THE
CROWD FOR THE MOMENT. BUT
TO BE BURNED FOREVER IN THE
MEMORY WITH SUBSTANCE AND
CLASS.

BRANDED.



※写真は日本仕様とは一部異なります。また、一部オプションを含みます。



PHYSICS.

PHYSICS SAYS THAT POWER IS TRAPPED IN EVERYTHING IN THIS WORLD. WHAT IT DOESN'T SAY: VERY RARELY YOU CAN SEE FROM THE OUTSIDE HOW IRREPRESSIBLE THE POWER IS THAT LURKS TO BE LIBERATED.





EVERYONE REACHES A
POINT IN THEIR LIVES WHERE
THEY'VE NEVER BEEN BEFORE.
THE TIMID WILL REMAIN
CAUTIOUS. BUT THE BRAVE
WILL ACCELERATE WITH FULL
FORCE INTO THE UNKNOWN
AND DISCOVER NEW DIMENSIONS.

DISCOVER.





DARKNESS IS IRRESISTIBLE:
IT MAKES HORIZONS DISAPPEAR,
MAKES THE WORLD DIFFUSE
AND WITH IT THE BOUNDARIES
OF SPACE AND TIME. AND AT
THE END, BRIGHTNESS WAITS
AND GIVES BIRTH TO PURE
BEAUTY. LIGHT IS

IRRESISTIBLE.



TIME

IS RELATIVE: LONG PHASES
SOMETIMES SEEM LIKE
UNIMPORTANT MOMENTS
TO US AFTERWARDS. OTHER
MOMENTS ARE SO BIG AND
RICH AND CONCISE THAT THEY
FEEL LIKE ETERNITY. THE ONLY
DIFFERENCE IS THE FEELING
THAT CARRIES YOU.



M competition

※写真は日本仕様とは一部異なります。また、一部オプションを含みます。

A red BMW 8 Series convertible is parked on a dark, wet surface at night. The car's headlights are on, and its interior is visible. In the background, a modern building with large windows and balconies is illuminated. In the foreground, the lower legs and feet of a woman wearing a long skirt and high heels are visible. The overall mood is sophisticated and elegant.

FIRE.

TO IGNITE IT, ONE SPARK IS
ENOUGH. TO KEEP IT ALIVE,
YOU NEED PASSION.
AND IN ORDER TO FORGE
UNFORGETTABLE MEMORIES
FROM ITS HEAT, YOU MUST
BE ABLE TO CONTROL IT.

02

デザイナーは、 極端なものを好む。

会話を重ねるほど、彼がいかに彼自身を愉しんでいるかがわかります。BMWのチーフ・デザイナー、ドマゴイ・デュケツ。そのデザインは、常に限らない情熱によって生み出されます。ディテールに至るまで研ぎ澄まされたBMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレは、真のスポーツカーであると同時に、彼にとっても夢のクルマなのです。

BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレは、その比類なき個性によってMの象徴となり得る存在です。Mモデルをデザインする上で、あなたは独自の信条などをお持ちですか？

イニシャルMが世界最強を示すと言われるのには、それなりの理由があります。もともとMは、BMWがモータースポーツ・モデル量産のために設けたサブ・ブランドでした。それから数十年の時を経た現在、Mは独自の進化を遂げ、唯一無二の確固たる地位を築き上げました。今までに培ったすべてのノウハウが、このハイ・パフォーマンス・モデルに注ぎ込まれています。もちろん、それはデザインにおいても明確に表れています。

それは、どのようなデザインに象徴されますか？

たとえば、3分割されたダイナミックなエア・インテークです。これは単なる装飾ではなく、実際の機能性をも考えめいたうえで精密にデザインされています。BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレにおいてはさらに、Mモデル固有のダブル・バーを備えたキドニー・グリルやエアロダイナミクスを最適化したMドア・ミラー、ダブルスポーク・スタイリングのM ライト・アロイ・ホイールなど、数多くの特徴的なエレメントを見つけることができます。優れたパフォーマンスを追求することはもちろん重要ですが、外観からそれを伝えるのもまた大事なことです。特にリヤ・ビューにおけるデュアル・エキゾースト・テールパイプは、その良い例です。BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレをベースに開発されたBMW M8 GTEは、耐久選手権において大いなる成功を収めました。我々は、このフラッグシップ・モデルがモータースポーツにおいても卓越した能力を発揮することを証明したのです。

M、それはすべてを 極限へと引き上げる。

BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレのフォルムは非常に官能的です。このような着想はどこから得たのですか？

ここ数年、私はBMW 8シリーズのデザインも同時に担当してきました。それはデザイナーであれば誰もが憧れる、とてつもなく大きな可能性を持つプロジェクトです。デザイナーは極端なものを好みます。BMW 8シリーズをデザインするにあたり、我々はファストバックの本格的なスポーツカーを目指しました。そう、実際にはすでに、その時点でM8へと通じるデザインを描きはじめていたのです。そのデザインは幾度かのブラッシュ・アップを経て、BMW 8シリーズとなりました。そこから我々は、さらなるスポーツカーらしさと独創性の向上に注力しました。フロントからドアを経てリヤ・フェンダーに至るまで、車両の表情は途切れることなく変化してゆきます。その造形美を際立たせるようにラインの数は極めて少なくし、リヤ・ホイール・アーチの上で遅しく官能的な面を強調しています。我々はこうして、BMW 8シリーズのプロジェクトが発足した当初に思い描いていた先鋭的な理想を、BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレという形で現実のものとしたのです。

「究極のパフォーマンス」と「至高のラグジュアリー」。この2つの要素を、いったいどのように調和させたのでしょうか。そこに対立は生じなかったのですか？

いいえ、対立することはありません。Mモデルは、クルマの美学と力学を最も表情豊かに伝えるモデルです。Mの文字は、あらゆる要素を極限へと導きます。それは装備や素材、色彩における表現力についても同様です。極めてラグジュアリーなBMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレは、同時に最高のパフォーマンスを備えていなければなりません。ラグジュアリーとは、常に必要とされるレベルのさらに上に行くことだと私は考えています。ですから、究極のパフォーマンスと至高のラグジュアリーという2つの要素は、見事に、完璧に調和するのです。

DOMAGOJ DUKEC
CHIEF DESIGNER FOR BMW.

ひと目見た瞬間、
すべてが変わりはじめる。



真のハイ・パフォーマンスと独創に満ちた
デザイン・コンセプトの融合は、絶対的な魅力という
ただひとつの結果をもたらす。かつて見たことがないほどに、
スポーティ。BMW M8 クーペは、人々の熱い視線を集め続ける。

Mモデルとしての威厳に満ちた存在感を主張するフロント・ビュー。
3分割されたワイドなエア・インテークは、強大なパワーを生み出すエンジンと
比類なき制動力を誇るブレーキへの冷却性能の高さを示します。
フラットな六角形を描くキドニー・グリルには、Mモデル固有の
ダブル・バーを採用。象徴的な4つのライト・エレメントの間で、
人々の視線を釘付けにします。より高貴でアグレッシブな印象を放つ
ハイグロス・ブラックのキドニー・グリル・フレーム*¹には、
BMW M8 クーペ Competitionの稀有なる個性が見事に
凝縮されています。さらに、サイド・ビューにおける一つひとつの
デザイン・エレメントが、見る者の熱狂を誘います。シャーク・ノーズの
ダイナミックな傾き。豊かな面と明瞭な線が描き出すBMWの新たな
デザイン・ランゲージ。そして立体的造形が施された20インチの
アロイ・ホイールに至るまで。すべてのディテールが、
揺るぎなきスポーティネスを体現しています。

レーシング・スピリットとデザイン。
それはBMW M8 クーペの
なかで絶えることなく、
深く共鳴し合っている。



全身から放たれる自信と誇りに満ちたオーラは、磨きぬかれた
デザイン・エレメントによりいっそう強調されています。
随所に採用されたカーボン・ファイバー強化樹脂(CFRP)はねじれ剛性が
高く極めて軽量なため、より刺激的なドライビングを可能にします。
M カーボン・ルーフは車両重量の軽量化に寄与するだけでなく、
エアロダイナミクスの側面においてもその先進性を示すものです。
また、M カーボン・エクステリア・パッケージ*²においても、
カーボン・ファイバーは魅力的なハイライトとして、フロント・バンパーの
エア・ガイド・エレメント、M サイド・ギル、M ドア・ミラー、
そしてリヤ・エプロン周辺の引き締まった造形が、そのスタイリングを
際立たせます。BMW M8 クーペにおいて、レーシング・スピリットとデザインが
いかに巧みに融合しているかということが、ここに如実に示されています。

*1: M8 クーペ Competitionにのみ設定されます。
*2: M8 クーペ Competitionにのみ設定可能です。

際立つ2つの資質。BMW M8 クーペのインテリアは、
駆る者の心を駆り立てる圧倒的なスポーティネスに満ちている。
そして同時に、他のスポーツカーでは到底及ばない、
極めて高度な要求にも応えられる絶対的な快適性を備えている。
ひとつの内で、すべてを実現する。
 BMW M8 クーペは、その最高の模範となるべき存在である。



ひと目見ただけで、すべてを理解する。M ドア・シル・プレートに刻まれた、「M8」または「M8 Competition」の照明付ロゴを目にした瞬間、あなたは究極の体験がすぐそこに待ち構えていることを確信するでしょう。なぜなら、BMW M8 クーペの趣向を凝らしたインテリアは、もはやスポーツカーの域を超え、ラグジュアリーのベンチマークをも打ち立てるものだからです。BMW M8 クーペのために新たに開発されたM スポーツ・シートは、モデルの個性を余すところなく反映しています。優れたサイド・サポートと特徴的な形状を持つショルダー部分は、サーキット走行に求められる高いホールド性能を完璧に満たします。その類稀なるポテンシャルは、ブラックとミッドランド・ページュのバイ・カラーから成るフル・レザー・メリノ／アルカンタラのコンビネーション*により視覚的に強調されるとともに、シートの中央部とドア・トリムに施されたヘキサゴナル・デザインのステッチにより、力強さを演出します。さらにヘッドレストの下に組み込まれたイルミネーション付の「M8」ロゴが、その印象をひときわ高めます。並外れたディテールへのこだわりも、BMW M8 クーペにおいてはごく当然のことなのです。

ドアが開けると、内なる声がカウントダウンを始めます。全身に沸き立つアドレナリンを感じ、セレクター・レバーを握れば、さらにその鼓動は加速してゆきます。M専用のコントラスト・ステッチとアンビエント・ライトが浮かび上がらせるインテリアは、視界のなかで美しく揺らめきます。長く伸びるセンター・コンソールの先頭に配された「M Competition」のバッジが示すように、モータースポーツからインスパイアされたドライバー志向のデザインは、限らないラグジュアリーと完璧に一体化し、ここに新たな価値を創造しているのです。

すべてを内包する、
唯一無二の価値がここにある。

*M8 クーペ Competitionにのみ設定されます。



至高なるラグジュアリー。
 それは、視線を捉えて離さない。





官能的な力強さ。
絶対的なラグジュアリー。

BMW M8 カブリオレ。それは、無限に広がる自由と、他の追従を許さない強烈なパフォーマンスが結合し、研ぎ澄まされて生まれた。そのビュアなスポーティネスは人々を虜にするとともに、未だ経験したことのない異次元の光景を垣間見せるだろう。

流線型のフォルムが特徴的な、BMW M8 カブリオレのサイド・ビュー。ルーフをオープンにした状態では、特に印象的な姿を見せつけます。伸びやかなボンネット、そして長く取られたホイールベース。BMWらしい象徴的なプロポーションは、そのモデルがいかに多くのエレガンスとダイナミクスを内に秘めているかを、より魅力的に表現します。そこには、新しいBMWのデザイン・ランゲージも含まれています。変化に富んだ面と明瞭な線により構成されたフォルムは、停止している時でさえその強大な衝動を想起させ、まるでいつでも前へと飛び出す用意ができているかのようです。ルーフを閉じれば、そのフレームが際立ったシルエットを生み出し、BMW M8 カブリオレの稀有なキャラクターをよりいっそう印象深いものとします。なかでも特に目を惹くのが、立体的な造形が施された20インチのM アロイ・ホイール*¹です。スタースポーク・スタイリング813M バイ・カラー*²では、ジェット・ブラック塗装面と切削加工された光沢面の組み合わせにより、スポーティさと気高さがよりはっきりと示されています。

*1：M8 カブリオレ Competitionにのみ設定可能です。
*2：M8 カブリオレ Competitionにのみ設定されます。



躍動の瞬間を待つ、 アグレッシブなスタンス。

ハイ・パフォーマンス・テクノロジーとデザインは密接に連携し合いながら、BMW M8 カブリオレを形作っています。ワイドに張り出しながらも洗練された佇まいのリヤ・ホイール・ハウスは、ホイール、そしてタイヤに作用する強烈なパワーを暗示するとともに、車両を自信にあふれた姿で路上に立たせます。M特有のディフューザー付リヤ・エプロンやダブルフロー・エキゾースト・システム、ブラック・クローム仕上げのデュアル・エキゾースト・テールパイプがその効果をさらに高め、BMW M8 カブリオレのリヤ・ビューを特筆すべきものにしています。





ソフトトップを下せば内と外の境はなくなり、
インテリアとエクステリアの競演が始まる。
調和のとれた美しきダイナミクスに彩られた、
BMW M8 カブリオレの比類なき個性。

BMW M8 カブリオレ。
そのインテリアは細部に至るまで、
レーシング・スピリットに
あふれている。



徹底して突き詰められた、Mのラグジュアリー。
BMW M8 カブリオレには、前へ進もうとする無限の推進力を
ダイナミックに示す縦方向のラインに加え、ドライバー・オリエンテッドな
デザイン・コンセプトが採用されています。そしてあらゆるディテールが、
このハイ・パワー・マシンのコントロールをより容易に、快適にするために
設計されています。レッドのスタート／ストップ・ボタンを押すと、
マシンが雄々しき咆哮をあげて目覚めます。アクセル・ペダルを踏み込んで
最初のカーブへと差し掛かった時、運転席と助手席に設えられた
M スポーツ・シートは、その優れたサイド・サポートと特徴的な形状を持つ
ショルダー部分により、理想的なホールド性能を発揮します。
さらに外気温度が低い時は、シートに内蔵されたエア・カラーが
オープン走行時にも最適な環境を作り出すとともに、停車時に点灯する
「M8」のロゴが、BMW M8 カブリオレが持つレーシング・スピリットを
明示します。デザインと機能性をともに備えているのは、シートだけでは
ありません。ダイナミックな3本スポーク・デザインのM スポーツ・レザー・
ステアリング・ホイールにはサムレストが備わっており、最適なグリップと
完璧な操作性をもたらします。さらにシフト・パドルは素早いシフト操作を
可能にし、M1／M2ボタンには好みの機能を割り当てることができます。
これにより、ドライバーは瞬時に、よりの確かつ刺激的なドライビングを
存分に楽しむことができるのです。

どこまでも力強く、
どこまでも個性的であれ。



すべては、美しさのために。

BMW Individualとは、自動車製造において、
熟練の手業によりもたらされる最高峰の技巧を表します。
それは、お客様の特に高いレベルの要望に応えるために
洗練された、特別なプログラムです。
ヨハン・ボグナーと彼の下で働く塗装工房のスタッフたちは、
このプログラムに並々ならぬ情熱を注いでいます。



2018年8月、BMWのディンゴルフィン工場はすべての生産ラインを停止し、夏季休業に入りました。当然、すべての従業員が休暇に入ります。ヨハン・ボグナーと3人の同僚を除いて。彼らは工房内でBMW 8シリーズ クーペと向き合い、そのボディの上で星をつかもうと試んでいます。正確に言うならば、類稀なるペイント・テクニックを駆使し、ボディに星が煌めく夜空を現出させようとしているのです。

ボグナーたちが相対している、BMW M850i Night Skyと名付けられた一台は、BMW Individualの新たな可能性を探るものです。ディンゴルフィンの塗装工房と、ガルヒンク・バイ・ミュンヘンに在るBMW Individual Manufakturのファクトリーにおいて、エキスパートたちが心血を注ぎ、クーペを宇宙船へと変えるのです。ドア・シル・プレートやセンター・コンソール、スタート/ストップ・ボタンには、極めて繊細な手作業によりモザイク装飾が施されます。このモザイク模様は45億年前に形成された鉄隕石でできた、わずか0.05mmの薄いプレートにより構成されています。

このムオニオナルスタ隕石はおよそ100万年前に地球へ飛来したもので、スウェーデン北部に位置する発見場所にちなみ命名されました。BMW Individual Manufakturのエキスパートたちは、全体で600gもの隕石をインテリアに組み込みました。ウィドマンシュテッテン構造と呼ばれるこの隕石に特有の意匠は、3Dプリントにより制作されたエア・インテークやドア・ミラー・キャップといった、エクステリアのコンポーネントにも使用されています。

塗装工房では、ボグナーと同僚たちがボディ全体を「ブラック・ユニ」のカラーでペイントしました。その後、55歳になるボグナーが、下方から慎重に「サンマリノ・ブルー」を吹き付け、流れるようなぼかしを入れてゆきます。「2つの色はまるで本物の夜空のように、とても美しく調和します」と彼は言います。これは、空の色がシアン・ブルーから深い漆黒へと変化してゆく『青の時間』を再現したものです。実際の空にはこの後、暗くなるにつれてより多くの星が見えるようになります。このクルマにおいては、果たしてどうなるでしょうか。



ヨハン・ボグナーは、40年にわたってBMWの塗装工房でキャリアを積んできました。彼はこれまで多くの特別な仕事を手がけてきました。それはたとえば、著名なファッション・デザイナーであるカール・ラガーフェルドへ色とりどりにペイントしたBMW 7シリーズを提供したり、中国やオマーンの顧客が求める独特な色彩にも完璧に対応してきました。「しかし、BMW M850i Night Skyは、私のキャリアのなかでも最高の仕事となるでしょう」と彼は言います。ここ数週間、ボグナーは幾度となく家の前に立ち、夜空を見上げ続けました。「星の輝きを、ボディ・ペイントに取り入れるというアイデアに魅せられたのです。メタリック・ペイントを用いた、これまでにないチャレンジとなるでしょう」。

プライベートではブラック・サファイアのBMW 320i ツーリングと、製造から20年以上が経つ、オックスフォード・グリーンを纏ったBMW 5シリーズ ツーリングに乗るボグナー。彼がBMWでキャリアをスタートさせた頃は、まだすべての車両が手作業でペイントされている時代でした。ニーダーバイエルン出身の彼は「あれは、とてもきつい仕事でした」と当時を振り返ります。その頃のようにボグナーたちはヘルメットを装着し、外気を送り込んでもらいながら二人一組になって、実際はかなり前からロボットが行っているような工程においても、ブース内で塗装作業を行いました。昔に比べ、水性塗料は溶剤型塗料に取って代わられるとともに、IPPと呼ばれるBMWの最新ペイント・テクノロジーが採用されています。これにおいて最初の塗膜は、いわゆるボディ本体と塗装表面の間で充填剤のような役割を果たし、飛石からの保護などに効果を発揮します。「次から次へと新たな素材や技術が出てくるので、塗装工としての修行に終わりはありません」とボグナーは控えめに語ります。しかし彼自身、日々の仕事では細部に至るまで完璧に仕上げることを心がけています。たとえば再塗装の際、組立時に生じたペイントの損傷を、彼はひとつひとつ手作業で修復します。「すべてがムラなく美しく輝くように、均等に塗装を施すには相応の技術が必要です。我々が“滴”と呼ぶような垂れがあってはなりませんし、塗料に汚れを閉じ込めてしまうようなこともあってはなりません」と説明するボグナーは、ワックス・クロスとエア・ガンを使い、塗装面を塵などの汚れから守っています。さらにBMWでは、メイン塗装を行う前にはダチョウの羽根を使用して埃を取り除きます。「最終的に埃を取り除くのにあたって、今のところダチョウの羽根に勝るものはありません」と、彼は微笑みます。

ひとつとして単純な色はない。
すべての色は、それぞれが複雑な
特性を持っている。



ボグナーはBMW M850iに施されたブラック・ブルーのベース塗装に、パール・ブロンズの顔料を吹き付けてゆきます。「この粒子は、光をキラキラと反射するのです」と彼は説明します。通常のメタリック・ペイントよりも粒子が大きいため、表面を滑らかに仕上げるにはクリア・コートを3層にわたって塗布する必要があります。「メタリック・ペイントをあまり薄く塗ってしまっはいけません。層が薄すぎると、粒子が表面に浮き上がってこないのです」と、ボグナーは説明を続けます。「ですが、厚過ぎてもいけません。粒子が砕け散り、今度は塗装面が均等になりません」。およそ4時間のあいだ、彼はBMW M850iに星空を描こうと奮闘を続けました。そしてようやくペイント・ガンを手から放し、バイエルン特有の冷静さで我々にこう言いました。「これは完璧だね」と。

ディンゴルフィンの塗装工房ではベーシックなカラーの他、BMW Individualのオーダーによる特別なペイントも数多く手がけています。塗装工は作業にあたり、カラーごとにある様々な要件を完璧にこなさなければなりません。「たとえばマット・ペイントの場合は、クリア・コートにグラム単位で正確に、適量のマット・ペーストを混ぜなければなりません」。ボグナーは続けて言います。「単純な色というのはひとつとしてありません。それぞれのカラーによって、まったく異なる処理が必要とされるからです」。

数週間後、ヨハン・ボグナーは自らの手で仕上げた傑作を披露するために、ミュンヘンへと向かいます。ヘッドライトが点灯し、アンペールの瞬間。BMW M850i Night Skyは、観衆の大きな歓声に迎えられました。バルセロナ・ブルーのボディが色彩を変化させながらほのかに光り、さらにそのなかから星たちが煌めくと、ざわめきはやがて嘆息へと変わります。ボグナーが自らの仕事に誇りと愛着を感じるのは、まさにこの瞬間です。彼は語ります。「完成した車両を眺めて、ペイントがどこまでも均等に、美しく輝きを放つのを目にするのは、何度体験しても格別です」。そしてこう付け加えました。「私たちのお客様には、駆けぬける喜びはもちろんのこと、クルマを眺める喜びも味わっていただきたいですから」。

絶対的なパフォーマンス。
それは、Mの哲学。



V型8気筒 M ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジン： 純粋なるパワーを生み出す、強靱な心臓。

サーキットを、コンマ一秒でも速く駆けぬけるために。
エンジン、サスペンション、コントロール・ユニット、そのほか走りに
関わるあらゆるコンポーネントは、完璧に連携するよう設計されている。
すべては、BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレでしか
叶えることのできない、異次元のドライビング・
エクスペリエンスを実現するために。

BMW M8 クーペ Competition、そしてBMW M8 カブリオレ Competitionに
搭載されたV型8気筒のM ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンは、
BMW M社がこれまで量産車用として開発してきたエンジンのなかで最も高い
出力性能を誇ります。独自のクロス・バンク・フロー配置の
M ツインパワー・ターボ・テクノロジーを採用した
このエンジンは最高出力460kW(625ps)を発揮するとともに、
750Nm(76.5kgm)の最大トルクをもって、息を呑むほどの加速を実現。
一つひとつのディテールはサーキット走行を念頭に設計され、完璧な連携が
とられています。徹底した軽量構造、強大な2基のターボチャージャー、
高精度のダイレクト・インジェクション・システムとバルブトロニック、
高負荷の走行にも耐えうる高性能冷却システムにより、このエンジンはプロの
ドライバーでも羨むほどの、夢のようなドライビング・エクスペリエンスを
現実のものとするのです。ダイレクトで素早いレスポンス、リニアな出力特性、
低回転域から安定して働く圧倒的な高トルクが、あらゆる瞬間において
絶対的な優位をもたらすでしょう。それは、官能的に鳴り響く
エキゾースト・ノートが、観衆の記憶により
長く印象付けられることの優位性までもを保証します。



アダプティブ M サスペンション： そのトラクションは、心まで捉える。

M xDrive：4輪駆動の限界を超える。

アクティブ M ディファレンシャルを搭載したインテリジェント4輪駆動システム
M xDriveは、ドライビング・パフォーマンスにおいて重要な役割を果たします。
BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレでは、
刻々と変化する路面状況に応じて、最適な駆動力を瞬時に
前後アクスルに分配します。選択した走行モードによっては、
アクティブ M ディファレンシャルとの連動により俊敏かつ軽快な
ハンドリングが重視され、突出したトラクションと常に連携を保ちます。
その結果、あなたはこのモデルが持つレーシング・パフォーマンスを
あらゆる場面で体験できる、ダイナミズムにあふれたドライビングを
手にすることができるのです。

アダプティブ M サスペンションが、今までに体験したことのない
ドライビングを叶えます。フロント・ホイール・ダンパーと
リヤ・ホイール・ダンパーは、ショック・アブソーバー内の電磁制御式バルブにより
互いに独立しながら無段階に制御されます。1000分の数秒内に演算処理が
行われ、ホイールごとに常時最適化されるダンパーのレスポンスにより、
いかなる場面においても路面に対して最適な接地が保証されます。
ドライバーはMセットアップにより、「コンフォート」「スポーツ」「スポーツ・プラス」の
3つのドライビング・モードを選択することができます。これらのモードでは、
ダンパーの設定が選択されたモードに従って自動的に調整されます。
普段の走行やクルージングの際に快適性を重視するよう設定したり、
スポーツ走行に適したシーンではホイールの動きを抑制してよりダイレクトな
接地感を得ながら、ドライビング・ダイナミクスの限界を
さらに高めることができます。

8速 M ステップトロニック・トランスミッション (Drivelogic付) :
走りの喜びは、どこまでも加速する。

BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレの技術的なディテールのなかでも、そのスポーツ性が最も象徴的に現れているのがM ステップトロニック・トランスミッションです。Drivelogicを備えたこの8速トランスミッションは、スポーティな加速性能と素早いシフト・チェンジ、そしてダイレクトなレスポンスが特徴です。快適性や燃費性能を重視したドライビングから極めてダイナミックな走りまで、好みの走行スタイルに応じて3つのシフト・プログラムから選択が可能。BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレは、普段のドライブからタフなサーキット走行に至るまで、あらゆるドライビング領域を巧みにカバーします。



日常であれ、サーキットであれ、
真に勇敢なる走りを。

M セットアップ: 心の高揚は、途切れなく続く。

エンジン、ステアリング、サスペンション、ブレーキ。すべてのコンポーネントが最適化されたBMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレは、ドライバーに純粋な喜びをもたらします。その喜びはM セットアップを駆使することにより、さらに濃密なものとなるでしょう。DSC (ダイナミック・スタビリティ・コントロール) では、総合的な走行安定性を確保する「DSCオン」とスポーティな設定の「M ダイナミック・モード」、そしてすべての走行安定システムを無効にする「DSCオフ」の3つのモードを用意。あらゆる状況に応じて、即座にモードを切り替えることが可能です。革新的かつフレキシブルな4輪駆動システムM xDriveにおいては、特にサーキットで最大限のドライビング・プレジャーを得るための完全な後輪駆動モードを含む3つのモードが用意されています。あらかじめM Driveメニューに設定されたこれらの機能は、ステアリング・ホイールに配されたM1／M2ボタンでも選択が可能です。BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレと過ごすすべての瞬間に、揺るぎない「駆けぬける喜び」があふれています。

M ビュー／M モード: 完全なるMの世界へ。

センター・コンソールのドライビング・モード・スイッチを押すだけで、Mの真髄に触れる。M モードでは車両特性のみならず、メーター・パネルやディスプレイの表示もカスタマイズされます。日常のドライブに適した「ロード」モードに加え、2つの刺激的なモードを用意。「スポーツ」モードではダイナミックな印象をもたらす『M ビュー』が有効となり、ダブル・レボリューション・カウンターをはじめとしたエレメントが鮮明に表示されるとともに、精緻なアニメーションによりドライバーへ明確なインフォメーションを提供します。「トラック」*モードは、さらにその先を行います。さらに拡張された『M ビュー』からは、サーキット・レベルの走行に不要な機能がすべて排除され、ピュア・スポーツカーにおける極限のダイナミクスに重点を置いた走りへとドライバーを導きます。スポーティかつパワフルなMロゴや情熱に満ちた色彩と相まって、スタートの瞬間から純粋なるアドレナリンを沸き立たせる、刺激に満ちた空間を演出します。

* M8 クーペ Competition／M8 カブリオレ Competitionにのみ設定可能です。





すると突然、小さな丘の背後にそびえる山の上で、真昼の太陽を反射して光る丸い物体が視界に飛び込んできた。この山の名はセロ・パラナル。その山頂にはいくつもの超大型望遠鏡 (VLT) が設置され、少し離れた山腹には研究所や管理棟、整備棟といった建物群が並んでいる。そのなかには映画「007 慰めの報酬」のロケ地として有名になった赤いコンクリートの建物も含まれていた。「レジデンシア」と呼ばれるこの建物は、訪問者のための唯一のホテルであると同時に、この天文台で研究に従事する天文学者たちの自宅でもある。山頂に建ち並ぶ4つの巨大な回転式サイロと、その周囲のレール上に配置された白い金属球 (それはまるで、特大サイズの宇宙飛行士のヘルメットのような) 。天文学者たちはこの施設で、レンズやフィルター、反射鏡、絞りを様々に調整しながら、この宇宙のどこかに存在すると信じられている、第2の地球を探し続けている。

天空を我が物とする： その眺望は、地球上の どこよりも美しい。

2000年に4台目が完成して以降、VLTはこの場所以外のどこにも設置されていない。それは、セロ・パラナルの特異な気候と立地条件に理由がある。この地域は標高が非常に高く、空の状態が常に安定を保っているうえに、年間を通して小さなグラス一杯程度の雨しか降らないため、一年を通じてクリアな視界が確保できる。さらに大都市や幹線道路からも遠く離れているので、街灯やネオンサイン、スタジアムの照明といった光源が星を遮ることもない。光害はゼロに等しい。空の見晴らしがこれほどまでに良好な場所は、地球上で他には見当たらないだろう。そう、研究者にとって、ここはまさに楽園なのだ。やがて東の方から、砂漠に闇のとばりが降り始めるとともに、空気がひんやりと澄み渡ってゆく。地平線へと没した太陽が西の空を朱く染め、銀色のサイロは金と薄紫のコントラストを織う。おもむろにハッチが開き、望遠鏡が空に向けて左右に旋回を始めると、白く丸い補助望遠鏡がレール上を前後に移動する。その様子はまるで隕石と舞うバレエ、あるいは星々と踊るサンバのようだった。

理想郷を追い求めて。

BMW M8 カブリオレに、限界はありません。

チリのアタカマ砂漠ほど、そのことが明らかになる場所はないでしょう。

なぜなら、世界にこの場所ほど“何もない” 地域はほとんどないからです。

そして平均標高2,000mに位置するこの砂漠ほど、宇宙を近く感じられる場所もありません。

私は今、あらゆることが可能となるように思える場所へと向かっています。

アタカマに隠された、不可思議の世界。

その道は果てしなく、まるで一本の蠟燭のように水平線へとまっすぐに伸びている。アスファルトの左右には、木々はおろかさボテンのひとつさえ見当たらない。岩と砂と塵。灰色と茶色。草むらすらない寂寥とした風景のなかを、ただ冷たい風が吹きぬけてゆく。一見、これほど文字通りの荒野はない。だが、私はその印象が誤りだということに気づかされる。ここはチリ、アタカマ砂漠。世界で最も乾燥しているこの場所には、忘れられ、失われた世界が隠されている。私は、その不可思議なる秘密の世界を探し出しさえすれば良いのだ。BMW M8 カブリオレへと乗り込み、エンジンを始動させる。この世のものとは思えない、美しく猛々しい咆哮にしばし酔いしれたら、秘密の世界を探索旅へと出発しよう。クルマを向けるのは、かつてアラスカからティエラ・デル・フエゴまで14の国々を通過して南北アメリカ大陸を縦断していた、全長45,000kmにもおよぶハイウェイ。この夢のような道路のうち、チリ国内を通る部分がルート5だ。太平洋に面した港町アントファガスタから、山や渓谷を蛇行するような道を南へ2時間。巨大な岩山から砂地に投げられたサイコロのように転がる岩のかけらまで、見渡す限りの岩をひたすらやり過ごす旅だ。

Photos: Niklas Marc Heinecke





天文台に別れを告げ、私は先へとクルマを走らせる。
観測の邪魔とならぬようにヘッドライトはロービームのまま、
夜の深みへと進んでゆく。最後のカーブへと差しかかる。
別れを惜しむかのようにもう一度セロ・パラナルへと視線を向ければ、
頂上への坂道が減光された街灯に照らされて微かに浮かび上がっている。
それはまるで真珠のネックレスのような光跡を描き、空のなかへと消えていた。
ふと想像してみる。ここで180度向きを変えてアクセル・ペダルを
一気に踏み込めば、いまだた道は星空への滑走路となる。
そしてBMW M8 カブリオレは、無限の空へと離陸するのだ、と。

もちろん、実際にはそんなことは起こり得ない。BMW M8 カブリオレは、
どんな状況においても極めて安定した走行をもたらしてくれていた。
北の方角、ボリビアとの国境へと続く夜の道は、まばゆい光であふれている。
フロント・ウィンドーは、遥かなる未知の世界へと通じる、時空を超えた
窓なのかもしれない。この空には、少なくとも10億個の星があると
考えられている。白い尾を引きながら地球のすぐ側を通り過ぎ、あっという間に
燃え尽きてゆく流星を視界の端でかろうじて捉える。大きな泉の脇にクルマを
停めれば、水面には赤に近いオレンジ色の天の川が映っている。空を見上げれば、
何千光年も離れたオリオン大星雲を自らの眼で確認することができる。
ああ、何ということだろう。アタカマ砂漠というこの場所では、人間とは所詮
ちっぽけなものであると同時に、自分自身をととても大きく感じることができるのだ。こんな場所はきっと、世界でここだけにない。



夜が明け、青銅色に染まる空。黒い雲は時折かすかにとどろき、
本格的な乾季を前にすでにひび割れた大地へと稲妻を走らせる。
そして地平線には、雪で覆われたアンデスの山々。まるで、自然が陶酔状態に
陥っているかのように混沌とした世界が、そこに広がっていた。
最後の目的地である砂漠のなかの小さな町、サンペドロ・デ・アタカマが
近づくにつれ、ドーム型の建物が描かれている標識をいくつも通り
過ぎることに気づく。そして多くの場合、その横にはUFOの形をした小さな
ステッカーが貼られていることにも。その標識はこの町の東側に在る
アルマ望遠鏡と、この世のものとは思えないほど巨大なパラボラ・アンテナの
一群を示している。この施設では、遠く離れた小惑星が放つ光を迎えることで、
未だ宇宙に響き渡っていると考えられるビッグバンの波長を捉えようと
試みている。またあるいは、宇宙に存在するオゾンや酸素、水などのデータを
収集している。ここでは、実際は遥か彼方に存在する謎の世界を、望遠鏡を
通して間近に見ることができる。1万もの星で構成された球状星団。
直径1億光年にもおよぶ銀河系。ファイア・レッドやバイオレット、ピンク、
スチール・ブルーなど、可能な限りの色で輝く星雲。眼前に広がる宇宙の
至るところで、星々が思い思いに瞬いている。手が届きそうなほど、
音が聴こえてきそうなほどに近く。そう、私はついに探し求めていた
「不可思議なる秘密の世界」に辿り着いたのだ。宇宙という、果てなき世界へ。

Photos: Niklas Marc Heinecke



アタカマ砂漠の夜空：
大きな泉の水面にも、もうひとつの天の川が現れる。



03

エモーションを具現化する ためのイノベーション。

思考をめぐらせ、アイデアに磨きをかけ、
ノウハウを極限まで追求するように。
革新的な技術を開発し、快適性や効率を高め、
卓越したパフォーマンスを実現していく。
しかしそれは、知識や能力、
先駆者としての偉業を誇示するためではない。
「駆けぬける歓び」という、ただひとつの情熱を
具現化するために挑み続けるのだ。
そして今、研ぎ澄まされたテクノロジーが、
限らないエモーションへと昇華する。
Bayerische Motoren Werkeという存在によって。

あなたのドライブに、 いつでも完璧なサポートを。

ドライバー・アシスタンス

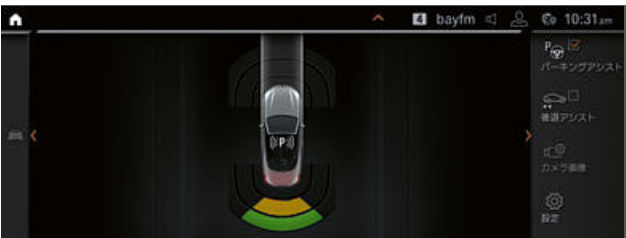


物理的な限界に挑み続ける。そのスピリットはBMW MモデルのDNAとして脈々と受け継がれている。もちろんそのチャレンジには、最大限の安全性を求めることも含まれる。真のハイ・パフォーマンスを語る上では、どれほど強烈なパワーを発揮しても、それを完璧に制御できなければ何の意味もない。だからこそ、BMW Mモデルは、尽きせぬドライビングの喜びと最高レベルのセーフティを両立するための危険予測システムを採用しているのだ。数々のインテリジェントな機能は、極限の走行状況下にあっても最大限に守られていることを実感させてくれることだろう。

ドライビング・アシスト・プロフェッショナル^{*1}

ドライビング・アシスト・プロフェッショナルは、BMW M8 クーペ/ BMW M8 カブリオレがもたらす類稀なるドライビング・プレジャーをいささかも損なうことなく、必要な時にはインテリジェントな数々の運転支援テクノロジーを組み合わせ、ドライバーをサポートします。すなわち、スポーツカーらしい興奮に満ちた体験と快適性、そして安全性を高い次元で両立するのです。混乱を招くような状況においては、カメラやレーダーを駆使したシステムが安全なドライビングをサポートするとともに、ドライバーにリラックス感をもたらします。ステアリング&レーン・コントロール・アシスト^{*2}は、車両が常に車線の中央を走行するようにサポートします。トラフィック・サイン・アシストは、走行している道路の制限速度に合わせて自動で車速を調整。市街地では、車両の前後方向から死角に接近してくるクルマや歩行者をセンサーが検知し警告する、クロス・トラフィック・ウォーニングが威力を発揮。ドライバーは、かつてないスポーティな体験を安心して楽しむことができます。

その光は、感動さえ呼び起こす。BMWレーザー・ライトは、従来のLEDヘッドライトの約2倍に相当する最長500mまでの距離を照射。ブルーのデザイン・アクセントと「BMW Laser」のロゴが、その革新性を余すところなく主張する。



パーキング・アシスト・プラスには、路上での縦列駐車をより快適にするためのリヤ・ビュー・カメラやリバース・アシスト／後退時ステアリング・アシスト機能^{*3}をはじめとした様々な機能が備わっている。システムはドライバーに代わり、ステアリングとブレーキ、シフト操作までを自動的に行う。

パーキング・アシスト・プラス

カメラと超音波センサーの連携により、パーキングや取り回しをより簡単なものにします。たとえば、低速走行で通過する際にセンサーが駐車可能なスペースを測定。十分なスペースがある場合は、ドライバーに代わりステアリング操作を自動的に行い駐車します。パーキング・アシスト・プラスには、リバース・アシスト／後退時ステアリング・アシスト^{*3}も含まれます。これは35 km/h以下の走行時に、直近50mのドライビング・ルートを自動的に記録し、必要な時にはこれまでドライブしてきたルートに沿ってステアリングを自動的に操作しながら後退できるようにする機能です。狭い道での行き違いや、ガレージからの出庫の際などに特に便利です。

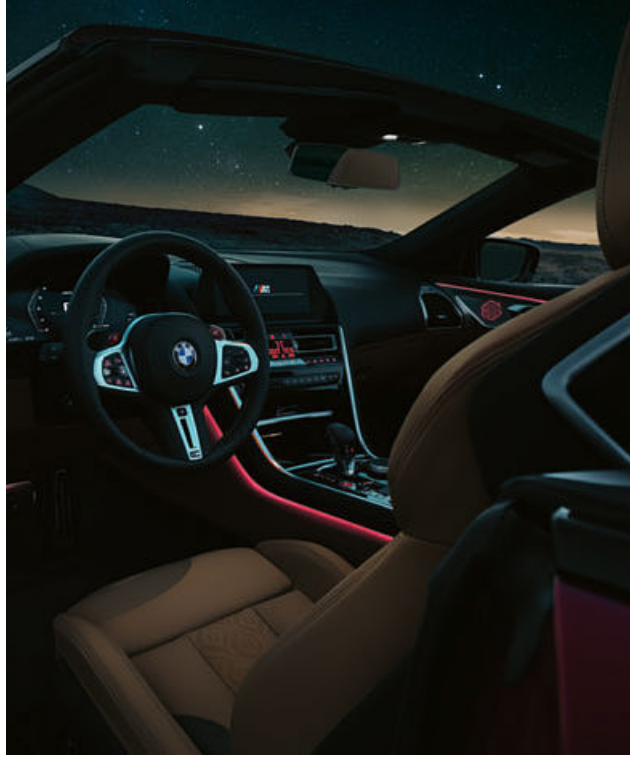
高速道路渋滞時ハンズ・オフ・アシスト^{*4}

高速道路^{*}を走行中、一定の条件下であればアシスト・システムを起動させることにより、ドライバーがステアリングから手を離しても、クルマがステアリングを自動的に操作しながら運転を継続します。さらに先行車との車間距離を保ったまま、車両停止や再加速も含んだアクセル／ブレーキ操作を自動で行いながら追従走行を継続。渋滞時におけるドライバーへの負荷を大幅に低減させます。

* 高速自動車国道法に定める「高速自動車国道」および「指定都市高速道路」に分類される道路。

- ※ご使用の前には、取扱説明書にて各機能の原理や操作方法を必ずご確認ください。運転者には、いかなる場合でも安全運転を行う義務があります。本機能は、運転者が責任を持って安全運転を行うことを前提とした「運転支援技術」であり、運転者に代わって車が自律的に安全運転を行う、完全な自動運転ではありません。システムの認識性能には限界があるため、路面状況や気象条件等によってはシステムが作動しない場合や、不適正にまたは理由なく作動する可能性があります。そのため、安全確認や運転操作をシステムに委ねる運転は、重大な事故につながる危険があります。常にご自身の責任で交通状況に注意し安全運転を心がけてください。
- *1: 前車接近警告および、衝突回避・被害軽減ブレーキは5-85km/h、歩行者検知機能は5-65km/hでの走行時に作動します。
 - *2: 完全な自動運転はできません。少なくともいずれかの手をステアリング・ホイールのリムに添えている状態で作動するもので、完全に手がステアリング・ホイールから外れると警告音が鳴り、一定時間後にアシスト機能を停止します。
 - *3: 完全な自動運転はできません。ドライバーは進行方向および周囲へ絶えず注意を払うとともに、緊急時などシステムが要求した場合、直ちにハンドルを確実に操作することが可能な状態を保つ必要があります。
 - *4: 完全な自動運転はできません。システムは状況が作動条件を満たさなくなった場合、安全のため直ちに作動を中断します。また、ドライバーは進行方向および周囲へ絶えず注意を払うとともに、緊急時などシステムが要求した場合、直ちにハンドルを確実に操作することが可能な状態を保つ必要があります。





BMW Mモデルは、常に世界とつながっている。運転中であっても、必要なニュースを受信する。電話やメールを通じて情報をやりとりする。あるいは気分の赴くまま、エンターテインメントを楽しむ。そのすべてを可能にするのが、BMW ConnectedDrive。スマートフォン^{*1}用アプリ「BMW M ラップタイマー」^{*2}でサーキット走行のラップ・タイムを管理したり、日常的に「BMW Connected」アプリなどを利用する場合においても、Mモデルに備わった多彩な接続方法と革新的な操作コンセプトが、スマートフォン^{*1}とクルマをスムーズに連携させる。快適な毎日は、すでにあなたの手のなかにある。

BMWライブ・コックピット

すべてが、一目瞭然に。BMWライブ・コックピットは、ステアリング・ホイールの奥に配置された12.3インチの高解像度インフォメーション・ディスプレイと、センター・コンソール上にあるタッチ・パネル機能付の10.25インチのコントロール・ディスプレイ、そしてフルカラーのBMWヘッドアップ・ディスプレイで構成されています。ナビゲーション・システムによるルート案内の矢印表示や現在の車両データなど、運転に必要なあらゆる情報が明快に表示され、ドライバーにとって理想的な視認性をもたらします。搭載されたBMWオペレーティング・システム7.0 においては操作の手段を個別に設定できるため、音声コントロール、ジェスチャー・コントロール^{*3}、タッチ・スクリーン、あるいはiDriveコントローラーを利用して、より直観的な操作が可能になりました。どの手段を利用しても、すべての機能は確実に実行されます。この空間において常に最優先されるべきは、あなたの意志なのですから。

BMWディスプレイ・キー

BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレのBMWディスプレイ・キーには、タッチ・パネル機能付のカラー・ディスプレイが搭載されています。これにより、車両から300m以内であればドアのロックなどの機能をリモート・コントロールできます。さらに、車両の走行距離や現在のドア・ロック状況などの情報も参照することができます。

- *1:一部機種やOSによってご利用いただけない場合があります。
- *2: 詳細につきましては、www.bmw.co.jp/MLaptimer をご覧ください。
- *3: M8 クーペ / M8 クーペ Competitionにのみ設定されます。
- ※ 本サービスは、BMWが契約する事業者が提供するモバイル・ネットワークの電波の届かない場所ではご利用いただけない場合があります。



より見やすく。
よりわかりやすく。

コネクティビティとエンターテインメント



日常とラグジュアリーの 華麗なる交錯。

快適性と機能性



BMW M が世に放つすべてのモデルは、無限の駆けぬける喜びだけにとどまらず、あなただけの洗練に満ちた移動のための空間を実現しています。あらゆるマテリアルは、最高レベルの快適性と最大限の機能性の融合のために形作られているのです。乗り込む時の趣のあるライト・デザインから、ハイエンドなサウンド・システムがもたらすピュアなサウンドの愉悅に至るまで。すべての物が、唯一無二のドライビング体験のために設計されています。

コンフォート・アクセス^{*2}

コンフォート・アクセスは、BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレとの日々をよりエクスクルーシブで充実したものにします。車両から3m以内に近づくと瞬時にウェルカム・ライト・カーペットが点灯し、あなたを迎えます。車両後方へとまわり、リヤ・バンパーの下で足を軽く動かすだけで、手を触れずにトランク・リッドを開閉することもできます。

ソフト・クローズ・ドア

ドアを閉める際、最後は電動でゆっくりと確実に閉まります。

Bowers & Wilkins

ダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システム^{*3*4}

その音響は耳から入り、心を直に震わせます。4つのケブラー・ミッドレンジ・スピーカーと3つのノーマル・ミッドレンジ・スピーカー。3つのダイヤモンド・ツイーターと4つのノーマル・ツイーター。そしてロハセル製コアを搭載した2つのサブ・ウーファー。さらに10チャンネル・アンプとマイクロフォンでサポートされたシステムが、走行状況に応じてスピーカーを効果的に制御し、ダイナミックで感動的なサウンドを響かせます。Bowers & Wilkins ダイヤモンド・サラウンド・サウンド・システムは、選び抜かれた素材と高度な技術の融合により、最高レベルのオーディオ体験を生み出します。

※Bowers & WilkinsはBowers & Wilkins®社の登録商標です。

*1: M8 カブリオレ／M8 カブリオレ Competitionにのみ設定されます。

*2: 車両から発信される電波が、植込み型心臓ペースメーカー等の機器に影響を与える可能性があります。詳しくはBMW正規ディーラーにお問い合わせください。

*3: モデルにより装備の設定が異なります。

*4: M8 クーペ／M8 クーペ Competitionには1400W、16スピーカー、10チャンネル・サラウンドが設定されます。M8 カブリオレ／M8 カブリオレ Competitionには1125W、12スピーカー、10チャンネル・サラウンドが設定されます。





04

マイスターの手が あなたの理想を現実へと変える。

BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレ。これほどまでに個性に満ち、
熱狂を呼び覚ますものは他にない。

その独創性は、多彩な可能性により限界まで引き出される。

類稀なる存在感を、五感すべてでダイナミックに感じられるようさらに磨き上げる。

あるいは、自身の好みに完璧にフィットするようカスタマイズする。

公道へと舞台を移した純粋なるレーシング・マシン。

その苛烈なまでのパワーと選びぬかれたマテリアルには、有無を言わさぬ威厳が宿る。

あなたは思いのままに、あふれる情熱をただ解放つだけでいい。

その想いを受け止め、一つひとつ丹念な手作業により完璧な形に仕上げること。

それこそが、我々に課せられた使命であるのだから。

THE BMW M8 COUPÉ.

あらゆる点において、新たな基準を打ち立てる存在。

BMW M8 クーペは、他に比肩するものがない

最も先進的なラグジュアリーを体現しています。

それは同時に、このモデルが絶対的なスポーツ性能と

絶対的なエレガンスを携えていることを、情熱とともに内外へと示します。



20インチ M ライト・アロイ・ホイール・ダブルスポーク・
スタイリング810M バイ・カラー (オービット・グレー)

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・ダブルスポーク・
スタイリング810M バイ・カラー (オービット・グレー)
(フロント) 9.5J×20ホイール、275/35R20タイヤ
(リヤ) 10.5J×20ホイール、285/35R20タイヤ

※ スノー・チェーンは装着できません。



BMW Individual ピアノ・フィニッシュ・
ブラック・インテリア・トリム

BMW Individual ピアノ・フィニッシュ・ブラック・インテリア・トリム*は、
チューリップ・ウッドの薄板を幾層にも重ね、その上にピアノ製作の工程と
同様のピアノ・ラッカー技術を施し、深みのある艶が出るまで表面を丁寧に
磨きあげるといった妥協のない工程を経てようやく生み出されます。
その漆黒の輝きは時を超えて、比類なきエレガンスを主張し続けます。

BMW Individual フローズン・ダーク・シルバー

シルクのような艶めき。

BMW Individual フローズン・ダーク・シルバー*に包まれた

ボディは、ひと目でそれとわかる特徴的な仕上がりをみせます。

この光沢は、幾層にも渡るコーティング工程で用いられる

特殊な顔料によってのみ出すことができます。

光を操り、視線を惹きつける。それはBMW M8 クーペの魅力的な
佇まいを忘れがたいものとさせる、色彩の魔術です。



フル・レザー・メリノ タルマ・ブラウン

フル・レザー・メリノ タルマ・ブラウン*に宿る深く豊かな

色合いは、BMW Individual ヘッドライナー・アルカンタラ・アンソラジットと
相まって、BMW M8 クーペのスポーティネスを余すところなく主張する、
誇り高きラグジュアリーの世界を現出させます。

*オプション



ライバルは、
ルーム・ミラーのなかにしか
存在しない。



THE BMW M8 COUPÉ COMPETITION.

ライバルという存在を、ルーム・ミラーのなかでしか見たことのない
BMW M8 クーペ Competition。

そのスタイリングにも、常にトップとしての誇りがみなぎっています。

フォルム、ボディ・カラー、マテリアルのすべてに、
いかにピュアなレーシング・スピリットを宿することができるかを追求。

その結果、静止している時でさえ果敢に前方へと
突き進むアスリートの躍動を、見事に体現したのです。

BMW Individual フローズン・マリナ・ベイ・ブルー

空の青から海の紺碧まで。

BMW Individual フローズン・マリナ・ベイ・ブルー*のボディ・カラーは、その表情にあらゆるブルーのニュアンスを含んでいます。複雑なコーティングとメタリック・ペイント、それらと完全にマッチするトップ・コートを組み合わせ、幾つもの層を重ねることで生み出される透明感に満ちた艶めきが、BMW M8 クーペ Competitionにさらなる個性を与えています。

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・ スタイリング813M バイ・カラー (ジェット・ブラック)

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・
スタイリング813M バイ・カラー (ジェット・ブラック)
(フロント) 9.5J×20ホイール、275/35R20タイヤ
(リヤ) 10.5J×20ホイール、285/35R20タイヤ

※ スノー・チェーンは装着できません。

BMW Individual フル・レザー・メリノ／ アルカンタラ・コンビネーション／ ブラック／ミッドランド・ベージュ*

ミッドランド・ベージュと美しいコントラストを成す、
アルカンタラ／ブラックで彩られたBMW Individual フル・レザー・メリノの
M スポーツ・シート。それはこのモデルがダイナミクスだけでなく、
デザインの側面においても極限まで研ぎ澄まされていることを
瞬時に伝えます。

カーボン・ファイバー・インテリア・トリム／ パール・クローム・ハイライト

目に見えて、ハイ・パフォーマンス。
超軽量なカーボン・ファイバー強化樹脂 (CFRP) を成形した
カーボン・ファイバー・インテリア・トリム／パール・クローム・ハイライトを
はじめ、BMW M8 クーペ Competitionのインテリアには、
揺るぎなきサーキット志向が貫かれています。

*オプション

THE BMW M8 CABRIOLET.

絶対的な自由と純然たるスポーティネス。

BMW M8 カブリオレには、ハイ・パフォーマンスなMのテクノロジーと、

魅惑的なカブリオレのデザイン・コンセプトがいかに溶け合い、

そしてどれほどの昂奮を喚起するかが現れています。パワーとエレガンス、

そしてスリルと自由が完全に融合したエクスクルーシブな一台。

あなたはアクセルを踏み込んだその瞬間から、

かつてない高揚感に包まれることでしょう。



20インチ M ライト・アロイ・ホイール・ダブルスポーク・
スタイリング810M バイ・カラー (オービット・グレー)

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・ダブルスポーク・
スタイリング810M バイ・カラー (オービット・グレー)
(フロント) 9.5J×20ホイール、275/35R20タイヤ
(リヤ) 10.5J×20ホイール、285/35R20タイヤ

※ スノー・チェーンは装着できません。



BMW Individual ピアノ・フィニッシュ・
ブラック・インテリア・トリム

BMW Individual ピアノ・フィニッシュ・ブラック・インテリア・トリム*が、
インテリアに特別な気品をもたらします。ピアノ製作の技術を取り入れ、
幾層にも塗装を重ねたうえで丹念に磨き上げられた、深みのある艶。
芸術品さながらの美しさが、ため息を誘います。

BMW Individual フローズン・ダーク・シルバー

BMW M8 カブリオレの流麗なアウトラインは、
BMW Individual フローズン・ダーク・シルバー* のボディ・カラーに
より、よりいっそう魅惑的な印象を纏います。薄く均一に重ねられたペイントに
おいて使用される特殊な顔料が、他に例を見ないほどのシルキーな光沢を
持つ、特別なマット仕上げを生み出します。オービット・グレーの表面に
切削光沢仕上げを組み合わせた20インチ M ライト・アロイ・ホイール・
ダブルスポーク・スタイリング810Mはボディ・カラーと完全に
調和するとともに、カブリオレのエレガンスをいっそう高めます。



M スポーツ・シート

非の打ち所のない性能、パーフェクトなスタイル。ヘッドレストに一体化された
エア・カラーを備えたM スポーツ・シート。ダイナミックな走行時や寒い日の
ドライブにおいても揺るぎない快適性を確保します。
さらに、タルマ・ブラウン*のフル・レザー・メリノは、BMW M8 カブリオレが
真のラグジュアリー・スポーツであることを周囲に知らしめます。

*オプション



THE BMW M8 CABRIOLET COMPETITION.

もはや、高揚を遮るものは何もない。
BMW M8 カブリオレ Competitionは、
いかなる時にも自信に満ちあふれています。
エクステリア、そしてインテリア。あらゆるディテールが、
このクルマを本来あるべき場所 — 孤高の領域へと難なく押し上げる、
圧倒的なパフォーマンスを映し出しているのです。



並ぶ者なき、
偉大なるカリスマ。



モテギ・レッド

異彩を放つルックスに宿る、稀有なる個性。
印象的なメタリック・カラー モテギ・レッドのボディ・カラーが表すのは、
強烈な自負心と規格外のカリスマ。
それは、BMW M8 カブリオレ Competitionのような
究極のアスリートが情熱とともに具現化する、
あらゆる才能において発揮されます。

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・ スタイリング813M パイ・カラー (ジェット・ブラック)

20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・
スタイリング813M パイ・カラー (ジェット・ブラック)
(フロント) 9.5J×20ホイール、275/35R20タイヤ
(リヤ) 10.5J×20ホイール、285/35R20タイヤ

※ スノー・チェーンは装着できません。

フル・レザー・メリノ

ミッドランド・ベージュ／ブラック*

ミッドランド・ベージュとブラックを纏った
フル・レザー・メリノのM スポーツ・シートが、
BMW M8 カブリオレ Competitionのスパルタンな
スポーツ性を包み込むかのように、至上のエレガンスを添えます。
ソフトトップを上げた時、あなたは其の安らぎを
最大限に味わうことができますでしょう。

カーボン・ファイバー・インテリア・トリム／ パール・クローム・ハイライト

カーボン・ファイバー・インテリア・トリム／パール・クローム・ハイライトは、
BMW M8 カブリオレ Competitionのインテリアにおける、
ひときわダイナミックなハイライトと言えるでしょう。
超軽量かつ高強度のこの素材はパフォーマンスの
向上に寄与するだけでなく、その唯一無二のスポーティな
意匠により、駆る者の心にモータースポーツの炎を燃やします。

* オプション

お気に入りの色をたとえば、
さらなる喜びが生まれる。

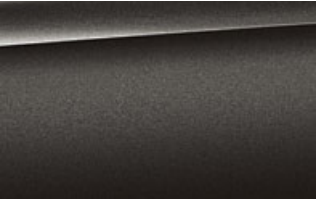
ボディ・カラー



ソリッド・カラー
300 アルピン・ホワイト



メタリック・カラー
C28 ドニントン・グレイ



メタリック・カラー
C17 ブランズ・ハッチ・グレイ



メタリック・カラー
475 ブラック・サファイア



メタリック・カラー
C38 バルセロナ・ブルー



メタリック・カラー
C2Y ブルーストーン



メタリック・カラー
C1K マリナ・ベイ・ブルー



メタリック・カラー
C3K モテギ・レッド

BMW INDIVIDUAL ボディ・カラー



メタリック・カラー
490 ピュア・メタル・シルバー



メタリック・カラー
490 プリリアント・ホワイト



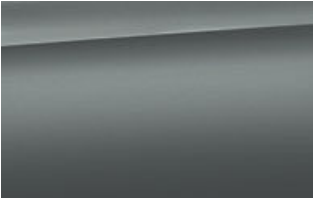
メタリック・カラー
490 フローズン・プリリアント・ホワイト



メタリック・カラー
490 フローズン・カシミア・シルバー



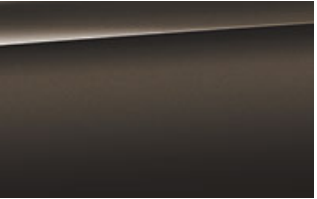
メタリック・カラー
490 フローズン・ダーク・シルバー



メタリック・カラー
X1D フローズン・ブルーストーン



メタリック・カラー
490 フローズン・マリナ・ベイ・ブルー



メタリック・カラー
C36 ドラバイト・グレイ



メタリック・カラー
C46 アルマンディン・ブラウン



メタリック・カラー
490 フローズン・アークティック・グレイ



メタリック・カラー
490 フローズン・ダーク・ブラウン



メタリック・カラー
X1C アヴェンチュリン・レッド

ここではBMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレでお選びいただける、多彩なカラーと素材のパリエーションをご紹介します。お好きな色を選択したり、豊富な素材との組み合わせを愉しみながら、あなたの個性にぴったりの一台をコーディネートしてください。BMW Individualは、BMW M8 クーペ／BMW M8 カブリオレの魅力をグレードアップさせます。気品と風格に溢れたラインアップの中から、あなたの感性を表現する理想の組み合わせをお選びください。ただし、これらのサンプルはカラーや素材のイメージをお伝えするもので、印刷の都合上、実際の色と異なる場合があります。詳しくはお近くのBMW正規ディーラーにお問い合わせください。実物により近い色をご覧いただけるオリジナル・カラー・サンプルをご用意しております。

自らのスタイルを映し出すための、
最も個性的な方法。

シート・マテリアル&カラー



エクステンド・レザー・メリノ
LKA9 シルバーストーン
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ
X3A9 シルバーストーン
インテリア・カラー：ブラック



エクステンド・レザー・メリノ
LKSW ブラック
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ
X3SW ブラック
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ
X3JT タルマ・ブラウン
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ
X3JQ ミッドランド・ベージュ
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ
X3DA サキール・オレンジ
インテリア・カラー：ブラック



フル・レザー・メリノ／
アルカンタラ・コンビネーション
HEJA ブラック (コントラスト・ステッチ付)／
ミッドランド・ベージュ
インテリア・カラー：ブラック

BMW INDIVIDUAL シート・マテリアル&カラー



フル・レザー・メリノ ZBEI アイボリー・
ホワイト／ナイト・ブルー (バイ・カラー)
インテリア・カラー：アイボリー・ホワイト



フル・レザー・メリノ ZBEJ アイボリー・
ホワイト／タルトゥーフォ (バイ・カラー)
インテリア・カラー：タルトゥーフォ

インテリア・トリム



4MC カーボン・ファイバー・トリム／
パール・クローム・ハイライト



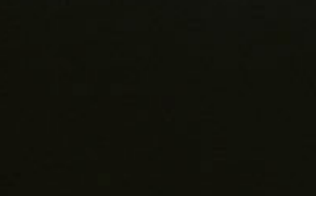
4WX アッシュ・ブラック・シルバー・エフェクト・
ハイグロス・ファイン・ウッド・トリム／
パール・クローム・ハイライト*1



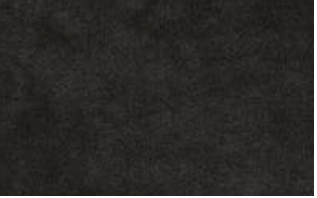
4ML ピアノ・フィニッシュ・ブラック・トリム／
パール・クローム・ハイライト

BMW INDIVIDUAL インテリア・トリム

BMW INDIVIDUAL ルーフ・ライニング*2



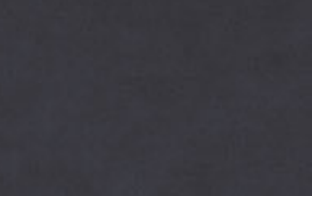
775 アンソラジット



776 アルカンタラ・アンソラジット



XD5 アルカンタラ・スモーク・ホワイト



XD5 アルカンタラ・ナイト・ブルー

*1: 自然素材を使用しているため、継ぎ目が生じる場合があります。

*2: M8 クーペ、M8 クーペ Competitionにのみ設定可能です。

※納車までにお時間をいただく場合があります。BMW Individualの詳細につきましては、BMW正規ディーラーにお問い合わせください。





プロダクトに関するさらに詳しい情報は、こちらをご覧ください: www.bmw.co.jp
BMWに関するお問い合わせは、BMWカスタマー・インタラクション・センターへ。
年中無休 受付時間9:00am~7:00pm(平日) / 9:00am~6:00pm(土日祝)
0120-269-437

本カタログに記載の諸元やデータおよび写真は、日本で販売されるモデルとは
細部で異なる場合があります(ヨーロッパ仕様の車を写真を含みます)。
また、一部オプションを含みます。
詳細に関しましては、お近くのBMW正規ディーラーまでお問い合わせください。

記載の事項および写真の著作権は、BMW AG (ドイツ) およびビー・エム・ダブリュー
株式会社に帰属します。無断転載を禁じます。
4 11 008 123 70 12020 CB. Printed in Germany 2020.

掲載モデル
BMW M8 COUPÉ COMPETITION
エンジン: V型8気筒DOHC (M ツインパワー・ターボ)
最高出力: 460kW(625ps)
ホイール: 20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・スタイリング 813M
バイ・カラー (ジェット・ブラック)
ボディ・カラー: BMW Individual フローズン・マリナ・ベイ・ブルー (オプション)
シート・マテリアル & カラー: フル・レザー・メリノ/アルカンタラ
(ブラック/ミッドランド・ベージュ)
インテリア・トリム: カーボン・ファイバー・トリム/パール・クローム・ハイライト

BMW M8 CABRIOLET COMPETITION
エンジン: V型8気筒DOHC (M ツインパワー・ターボ)
最高出力: 460kW(625ps)
ホイール: 20インチ M ライト・アロイ・ホイール・スタースポーク・スタイリング 813M
バイ・カラー (ジェット・ブラック)
ボディ・カラー: モテギ・レッド
シート・マテリアル & カラー: フル・レザー・メリノ(ミッドランド・ベージュ) (オプション)
インテリア・トリム: カーボン・ファイバー・トリム/パール・クローム・ハイライト

